

## 事後内部評価シート

調査研究課題名	ユビキタス社会に対応した都市交通支援システムに関する研究1 都市複合型携帯端末に関する研究開発
担当者	研究調整官 水谷誠、研究官 千葉豪
当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、ICカードと携帯電話等の融合により、各種決済や、様々なコミュニケーションを1台で可能とする端末（都市複合型携帯端末）について、その機能、使用する情報基盤、形態、技術的課題等を検討してプロトタイプを作成し、実証実験においてその利便性を評価するものである。</p> <p>平成16年5月に、19名のモニタにプロトタイプの都市複合型携帯端末を貸与し、都内の様々な施設を利用した実証実験を実施し、端末本体及びETC利用、各種決済、各種情報配信のサービスに関するアンケートの収集とアンケート結果の評価・分析を行うことで、当初の目標は達成された。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>1台の端末で非接触ICカードによる通信、Bluetooth、DSRC（ETC）、無線LAN、携帯電話通信、GPS利用といった狭域から広域までの多数の無線通信に対応することが可能であることが確かめられた。又、広く利用されている都市施設において実証実験を行い、アンケート調査を行うことにより、都市複合型携帯端末に求められているもの、利便性が高いとされるもの、実現する際の課題等について幅広く考察することができた。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究に際しては最先端の知見を有する民間企業等と積極的に議論しながら行い、実証実験の実施に際しては個別に有識者にご指導を頂くとともに、学産官の議論の場である「次世代マルチモーダルITS研究会」において説明、ご意見を頂き、的確な調査研究を進めることができた。</p>
成果と活用（予定）	<p>PRI Review 13号（2004年夏号）に概要を掲載した。また、平成16年5月28日号の電波タイムズに掲載された。</p>
その他	<p>本実証実験は、e-Japan 重点計画 2003 に掲げられた研究テーマである。</p>